

『ウイズ』すまいる

2022年 冬号

法人理念

安心

「安心」に満ち溢れた生活と快適なサービスを提供します。

信頼

人を敬い、人に優しい「信頼」される施設を目指します。

奉仕

「奉仕」の精神のもと、真心こめて地域社会に貢献します。

社会福祉法人 厚慈会

- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービス
- グループホーム

国見の里 杜・丘



「今年もよろしく
お願い致します。
みんなが楽しく
過ごせますように。」

新年の挨拶



社会福祉法人厚慈会
理事長 堀切 伸一

一昨年、昨年と新型コロナウイルスの流行により、ご利用者さま、ご家族さま、地域の皆さまに、ご不便とご心配をお掛けしています。また、職員の皆さんには移動制限や三密回避など感染防止の徹底をお願いしております。今も新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の動向が危惧されていますが、ブースター接種や抗ウイルス薬が使用可能となるなど明るい兆しも見えています。コロナウイルスの正確な情報と知識を習得し、施設の安全と良質なサービスの提供にいつそう務めてまいります。今年、社会福祉法人「厚慈会」を設立して10周年になります。これからも「いのち・人格・人権を尊重」し、年齢や障害に関わらず、あらゆる人が「ともに住み」「ともに生きる」ことを目的に、何よりも「人間の尊厳」を大切にする施設を目指しますので、ご教示を賜りますようお願い申し上げます。



2022

1月 新年

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。



デイの利用者様のちぎり絵の作品

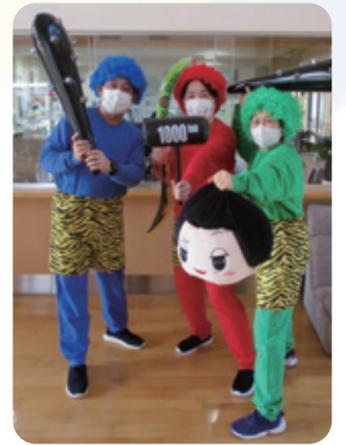


新年の抱負は...



2月 節分

今年も鬼がやってきた!
ボールを持ち、鬼は〜外! 福は〜内!!
今年も健康で、幸せでありますように



今年の恵方は 恵方巻



12月 クリスマス

みんなでツリーの飾り付け!



第2回キラリふくしま「介護賞」 職員部門3名受賞!!

3名の職員に、入居者様と関わるうえで大切にしていることをインタビューしました。

～キラリふくしま介護賞とは～

一般社団法人福島県老人福祉施設協議会において福島県内の介護現場でキラリ輝く介護職員や施設の取り組みを表彰する制度です。



地域密着型特別養護老人ホーム
国見の杜

齋藤誠司さん

私が大切にしていることは『笑顔』です。職員が笑顔で挨拶や会話をすれば、信頼関係を築く第一歩につながります。常に思いやりを持って



接し、安心して生活できる環境を提供していきたいです。



特別養護老人ホーム
国見の里

村上絵美さん

入居者様の思いを大切にしながら、その人らしい生活が送れるように、また、その人の持っている可能性を見出しながら、安心安全を心がけて関わっています。



特別養護老人ホーム
国見の里

東城有紗さん

入居者様の言葉・仕草・表情を見て、相手がどう思っているのか考えながら、寄り添った介護を行っています。また、どんな時でも安心していただけるように、穏やかに接することを大切にしています。



歯科衛生士 氏家かおりさん

入居者様の歯や口腔ケアのサポートをしています。



「進んだきっかけ」

手に職をつけた方が良いと父に勧められたのが、歯科衛生士になるきっかけでした。学校が近くにあって、都会に行きたいと思っていた私を引き留めるためだったのかもしれませんが、長くこの仕事を続けているというのは、人と接する事が好きな私に向いていたんだなと思います。父に感謝です。



「歯科衛生士」の仕事

健康で生き生きとした生活を送るためには『自分の歯でおいしく食べる』『楽しく会話する』ことが大切です。歯科衛生士は歯・口腔の健康づくりをサポートする仕事です。

私は歯科医院で、虫歯や歯周病の予防のために歯垢（プラーク）や歯石などの口腔内の汚れを除去したり、患者さんに合わせた歯磨きの仕方を指導しています。その他に乳幼児健診、幼稚園・小学校・中学校の歯の教室で話をしたり、高齢者の方々にお口の健康について話をする仕事もしています。

国見の里には昨年11月よりお世話になっています。2回、3回と回数を重ねるたびに、お口の中がきれいになっている入居者さんが多くなってきて、とてもうれしく思います。舌の体操の大切さも少しずつ理解して頂いているようで、私の顔を見ると舌を回す体操をしてくださる入居者様もいらっしゃいます。

高齢者の方は、お口の中が汚れていると誤嚥性肺炎になるリスクが増えます。また、歯周病が全身疾患にも関係があると言われています。これからも施設の方々にご指導していただきながら、入居者様のお口のケアに努めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

事故防止コンクール 優秀事業所表彰 (12月2日)



交通事故防止コンクール優秀事業所表彰式が福島北署桑折分庁舎で行われました。表彰式では門馬福島北警察署長より齋藤統括施設長に表彰状が授与されました。これからも、交通事故防止活動に積極的に取り組み事故ゼロを目指していきます。

安全運転管理者より

寄贈 (12月17日)



国見町寿クラブ連合会様より、理事長が施設を代表してタオルを受け取られました。いただいたタオル類は、施設にて大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



令和3年度統計功労者表彰 (10月18日)

昨年、「国見町功労表彰」受賞に引き続き、今年も、長年にわたり各種統計調査に従事し、統計の発展と普及啓発のために顕著な功績をあげられた統計調査員に送られる、統計功労者表彰を山田孝志(デイサービス職員)さんが受賞しました。おめでとうございます。



そば打ち (12月11日)



うまい!

今年も、東邦銀行の『そば愛好会』様から、手打ちのそばを作っていただきました。早朝から、100食分も打っていただき、昼食に入居者様に提供しました。入居者様から「やっぱり手打ちのそばはおいしい」とお話があり、ペロッと全部を召し上がっていました。ありがとうございました。

コロナワクチン3回目終了しました (1月17~21日)



国見の里では、1月17~21日にコロナワクチン3回目を実施しました。2回目終了後、6か月以上が経過した職員、入居者様、デイサービス利用者様、ショートステイ利用者様を対象に実施しました。感染しないように、これからも感染対策を実施していきます。

編集後記



統括施設長
齋藤 茂樹

1995年をピークに日本の生産年齢人口は減少の一途をたどっています。老年人口(65歳以上)は向こう20年増え続けると見込まれることからいずれの産業においても人手不足は避けられない見通しです。特に介護業界においては深刻な問題です。近頃コロナ禍にあってテレワークが注目を浴びていますが、私達介護の現場では時間や場所が制約される仕事のためテレワークとは無縁と言わざるを得ません。でも目の前には私達を待っているお年寄りがいる以上介護の手を休めるわけにはまいりません。「日日是介護」で今年も頑張りましょう。

社会福祉法人 厚慈会

【発行責任者】

統括施設長 齋藤 茂樹

【住所】

〒969-1788
伊達郡国見町小坂南3番地

【TEL】024-585-5161

【FAX】024-585-1588

【ホームページアドレス】

kunimi-sato.or.jp